



発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル内
電話 03(3256)1981
FAX 03(3256)1982
印刷 (株)連合印刷センター
電話 03(3582)8541

おかげさまで育英会設立二十周年

皇太子殿下を
『遺児を励ます全国のつどい』
お迎えして

― 九〇〇人が参加して盛大な式典 ―



財団法人 漁船海難遺児育英会 設立20周年記念
漁船海難遺児を励ます全国のつどい

漁船海難遺児育英会は、昭和四十五年十月に設立され今年で二十周年を迎えるに当たり、これを記念して去る八月七日、皇太子殿下の行啓を仰ぎ、東京都代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」が盛大に開催されました。

このつどいには、全国から当育英会奨学生代表と母親代表の励まされる側と水産関係者、一般協力者など当育英事業に御協力、御支援をいただいている励ます側、併せて約九百人が参加しました。

漁船海難遺児育英会の設立二十周年を記念して、「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」が開催されることを、大変意義深く思います。



皇太子殿下のおことば

古くから、私たち日本人は海の恵みを享受してきましたが、特に、漁業は私たちの食生活を豊かにするなど、人々の暮

り、そして漁船海難遺児奨学生と母親代表の作文発表が行われました。

このあと、皇太子殿下から遺児・母親に対し、あたたかい励ましのおことばをいただき、続いて、来賓の保利耕輔文部大臣（代理）、山本富雄農林水産大臣（代理）、笹川良一（財）日本船舶振興会会長からそれぞれ励ましのおことばをいただきました。また各界からの祝電披露のあと、漁船海難遺児を代表して、福浦正泰君（島根県・松江工専二年）が答辞を行い、育英会常任理事伊賀原弥一郎（全国水産加工連副会長）の閉式のご挨拶で午前十一時に終りました。皇太子殿下におかれては、鈴木理事長の先導で御退場の際、遺児や母親に直接親しくお話しのおことばをおかけになり、会場全体に感動の渦が湧きあがりました。

つどいは、このあと第二部のアトラクションに移り、歌手の鳥羽一郎さんと北見恭子さんの「海の歌謡ショー」が披露されましたが、伴奏の三原綱木とザ・ニューブリードの人氣バンドが一体となって楽しいひとときを提供いたしました。午後は遺児と母親らは三台のバスに分乗してNHK、東京タワー、原宿のタレントショップなど都内見学を行いました。

なお、前日の六日午後六時半から同センターで「全国交流の夕べ」が行われ、遺児・母親の全員が、鳥羽一郎さんの励ましや、指導員の指導のもとに色々なゲームなどで、交流がたかめられました。

意を表したいと思います。

ただ今は遺族代表の方々の読まれた作文から、かけがえのない父や夫を失われた皆さんが、悲しみと苦しみを乗り越え、お互いに心を通わせ、手を取り合っ

て明るく強く生きておられる姿に深い感銘を覚えました。これから様々な困難に遭遇されることがあっても、今までと同じように明るく強く健やかな日々を過ごしていけるよう祈っております。それとともに海の安全確保のために関係者の一層の努力を期待し、漁業の発展と漁業従事者の福祉の向上が図られることを希望して、私のあいさつといたします。

この育英会は、設立以来今日までに九千人に及ぶ遺児たちの学業を支えてきたと聞いております。この二十年間に関係者の私われた並ならぬ努力に対し、敬

主催者代表のあいさつ（要旨）



財団法人 漁船海難遺児育英会
理事長 鈴木善幸

本日、ここに、財団法人漁船海難遺児育英会設立二十周年記念、「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」を挙

協賛団体代表のあいさつ（要旨）



漁船海難遺児を励ます全国協議会
会長 池尻文二

会場にお越しの皆さん、そしてお母さん方、暑い中をまた、全国から

来賓の励ましのおことば（要旨）

立派な社会人に

文部大臣 保利耕輔

今日皆さんが、幾多の困難を乗り越え、このように明るく、かつ、たくましく成長されていることを知り、喜びに堪えません。もちろん、奨学生の皆さんが今日あるのは、苦勞を共にされてきた御母様を始めとする御家族の方々の励ましや御努力、さらには、皆さんを温かく見守ってこられた周囲の方々の御支援のお陰であります。

どうか今日まで皆さんを支えてこられた方々への感謝の気持ちを忘れず、持ち前の強い精神力によって、いかなる困難にも打ち勝ち、立派な社会人として大きく成長していただきたいと思います。

今日皆さんが、幾多の困難を乗り越え、このように明るく、かつ、たくましく成長されていることを知り、喜びに堪えません。もちろん、奨学生の皆さんが今日あるのは、苦勞を共にされてきた御母様を始めとする御家族の方々の励ましや御努力、さらには、皆さんを温かく見守ってこられた周囲の方々の御支援のお陰であります。

は、公式行事御多端の中を御臨席いただき、親しく励ましのお言葉を賜わ

ことは、遺児奨学生を始め、参加一同無上の光栄であり、衷心よりお礼申し上げます。

また、本日は御多忙の中を、文部大臣、農林水産大臣並びに協力者代表を始め、かくも多数の関係者各位の御出席をいただき、遺児奨学生や家族に対して、直接、温かい励ましを賜わること、誠に有難く、主催者を代表して厚くお礼申し上げます。

さて、育英会二十年の歩みは、漁業協同組合員、水産関係者を始め、励ま

本当に良くおいで下さいました。心から歓迎を致します。

育英会の二十周年を記念して、第四集目の母と子の作文集が発行されましたが、逆境の中で、家族が一つになつて懸命に生きておられる様子を胸を打たれます。

漁船海難遺児育英会は、間もなく二十才の誕生日を迎えますが、これまで政府のご支援もいただき、また年毎に、国民各層のご協力の輪も広がり、今日を迎えることができました。

将来へ希望とたのもしさ

農林水産大臣 山本富雄

奨学生と母親の代表の方々の書かれたものに接するとき、その内容に胸をつかれると同時に、奨学生の方々が困難に負けず、明るく素直に成長されている姿に、将来への希望と頼もしさを感じるものであります。

今日まで皆さんを立派に育てて下さったお母さまをはじめとする周囲の方々、本日このつどいに参加しておられる方々など多くの方々が皆さんを見守っているのだというのを忘れず、困難のひとつひとつを乗り越えられ、立派な社会人になられることを期待いたします。農林水産省といたしまして、漁船海難遺児育英事業の充実を図られるよう今後とも努力していく所存であります。

今日皆さんが、幾多の困難を乗り越え、このように明るく、かつ、たくましく成長されていることを知り、喜びに堪えません。もちろん、奨学生の皆さんが今日あるのは、苦勞を共にされてきた御母様を始めとする御家族の方々の励ましや御努力、さらには、皆さんを温かく見守ってこられた周囲の方々の御支援のお陰であります。

しおじさん・おばさん会員各位、並びに、数えきれない国民の皆様から賜わった数々の御支援に支えられてまいりました。お陰をもちまして、育英事業の内容も年々充実し、特に、平成二

年度からは、長年の宿願であった大学等へ進学した者にも、奨学金を貸与する事業の拡大が実現でき、ここに幼稚園から小・中学生までを対象とする学資給与事業、並びに高校・大学等在学奨学生の奨学金貸与事業をもって、一貫した事業体制が整ったことを御報告し改めて、御支援に対し厚くお礼申し上げる次第であります。

「板子一枚、下は地獄」と古くからいわれておりますが、海で働くことの厳しさ、危険と隣り合った労働環境を表現したのですが、私は一日も早くこの言葉を過去のものにしたい、それこそ、私たちの「励ます運動」の究極的な目標であると考えます。私たちは、漁船海難遺児がある限り、「励ます運動」を続けて参ります。漁業関係者を始め、各位の一層のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

「板子一枚、下は地獄」と古くからいわれておりますが、海で働くことの厳しさ、危険と隣り合った労働環境を表現したのですが、私は一日も早くこの言葉を過去のものにしたい、それこそ、私たちの「励ます運動」の究極的な目標であると考えます。私たちは、漁船海難遺児がある限り、「励ます運動」を続けて参ります。漁業関係者を始め、各位の一層のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

「板子一枚、下は地獄」と古くからいわれておりますが、海で働くことの厳しさ、危険と隣り合った労働環境を表現したのですが、私は一日も早くこの言葉を過去のものにしたい、それこそ、私たちの「励ます運動」の究極的な目標であると考えます。私たちは、漁船海難遺児がある限り、「励ます運動」を続けて参ります。漁業関係者を始め、各位の一層のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

「板子一枚、下は地獄」と古くからいわれておりますが、海で働くことの厳しさ、危険と隣り合った労働環境を表現したのですが、私は一日も早くこの言葉を過去のものにしたい、それこそ、私たちの「励ます運動」の究極的な目標であると考えます。私たちは、漁船海難遺児がある限り、「励ます運動」を続けて参ります。漁業関係者を始め、各位の一層のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。



財団法人 日本船舶振興会
会長 笹川良一

私は、皆様方の元気なお姿を拝見して誠にうれしい限りです。

また漁船海難遺児の育英事業に日本船舶振興会が協力申し上げておりますことを心から喜んでおります。

奨学生の皆さんにおきましては、これからの人生に多くの困難もあるかと思いますが、あなた方の努力は必きお父さんへの何よりのはなむけであり、またお母さんをはじめ皆様方へのご恩返しでもありますので、その困難にうち克ちお母さんを助け学業に励み社会人として立派に成長されるよう心から期待しております。

今日皆さんが、幾多の困難を乗り越え、このように明るく、かつ、たくましく成長されていることを知り、喜びに堪えません。もちろん、奨学生の皆さんが今日あるのは、苦勞を共にされてきた御母様を始めとする御家族の方々の励ましや御努力、さらには、皆さんを温かく見守ってこられた周囲の方々の御支援のお陰であります。

遺児奨学生・母親の代表の作文発表

遺児奨学生、卒業生および母親を代表したみなさんによる作文の発表が行われ、会場に感動と涙をさそいました。

お母さん、ありがとう



(島 根 県)
小 六 昌 慶
藤 村 昌 慶

ぼくのお父さんは、ぼくが五歳のおびなおしの時に、夜一人で舟で、魚を取りに出て、舟がばくはつして、なくなりました。

お母さんは、仕事に行ったり、民宿のお客さんがある時は、夜おそくまで働いています。つかれている時は、ぼくや姉ちゃんをおこしたり、『勉強するだかね』と言います。でもたまに、手伝いをすると、お母さんはここにこして、『よっちゃん、ありがとう』と言ってくれるので、ぼくもううれしくなります。

おじいちゃんも一人で海へ行って、魚を取ってきます。魚を漁協へ持って行きます。お客さんには生きたのをさしみにしてあげます。



(青 森 県)
小 三 百 香
長 根 三 百 香

お母さんは、がんばりや

八月七日は、お父さんがなくなっから三年目になります。ふねにのってしごとをしていて、ぐあいかわるくなって、北海道のおたるのみなとに入って、びょういんにゆういんしたんだだけ、手おくれのじょうたいだった。

お母さんは、いつも元気でいてほしいです。お手伝いもしてあげたいです。お母さんこれからも、ぼくたちをよろしくね。

お母さんは、いまでも元気でいてほしいです。お手伝いもしてあげたいです。お母さんこれからも、ぼくたちをよろしくね。

お母さんは、いまでも元気でいてほしいです。お手伝いもしてあげたいです。お母さんこれからも、ぼくたちをよろしくね。

お母さんは、いまでも元気でいてほしいです。お手伝いもしてあげたいです。お母さんこれからも、ぼくたちをよろしくね。

たそうです。私がようちえんのときでした。

お母さんは、店のきものをぬけています。けっこんしきにきる黒いきものや、きれいなものが入ったきものをぬけています。毎日毎日ぬけています。おぼんや、お正月が近くなるとねないでぬけています。私は、お母さんに『夜おそくまでぬけて、つかれるからやめればいいのに』といった『やくそくの日にあげないと、お店にめいわくをかけることになるんだよ』とおしえてくれました。

私は、毎日いそがしい、いそがしいといいて、私とあそんでくれないお母さんを見て『しごとをしてお金をもらうことは大へんだな』と思いました。

母の留袖



(岩 手 県)
長 坂 孝 子

私の両親は、今から二十七年前に結婚しましたが、結婚式もせず、記念写真も、結婚指輪もありません。ただ、結婚する時に、父が祝いの品として贈ったという留袖があります。

そして今年(平成元年)の四月二十九日、私は父が贈ったという、母にとっては花嫁衣装のかわりだった留袖を着て嫁ぎました。留袖を着て、母を手をつないで入場する時、なんだか亡き父にも花嫁姿を見てもらったような気持ちで、胸がいっぱいになりました。

父が亡くなって、今年で十二年になります。父は小さい頃から苦労続きの生活で、船に乗り働けばかりの人生だったと聞きます。

船主からの悲報に、今まで一度も見事がない程に泣き崩れた母は、あれ以来一度も涙を見せず、朝は三時から起きて豆腐を作り(豆腐屋)、父が生きていた頃と変わらず明るく頑張っています。今結婚してみても、これまでの母の苦労が、母の強さが身にしみま

た。父が亡くなって、今年で十二年になります。父は小さい頃から苦労続きの生活で、船に乗り働けばかりの人生だったと聞きます。

父が亡くなって、今年で十二年になります。父は小さい頃から苦労続きの生活で、船に乗り働けばかりの人生だったと聞きます。

父が亡くなって、今年で十二年になります。父は小さい頃から苦労続きの生活で、船に乗り働けばかりの人生だったと聞きます。

退任のご挨拶

育英会を去るに当って



前専務理事
前 田 優

私が昭和五十六年十月育英会の専務理事に就任してから満九年になります。育英会にお世話になった当初は、漁船海難遺児奨学生の数が、二、三〇〇名程度で育英会の基本財産は、一七億円でした。奨学生に対する給与・貸与額は極めて少額でした。この状況を打破するため第三期の系統募金に力を入れ、一般募金として水産関連業界(大会社・中央漁業団体・水産加工団体・荷受関係)や水産連(漁商)・産商等に働きか

け、第四期・第五期と続いて御協力を得ることが出来ました。一方高校生に対する貸与金増額のため「励ましおじさん・おばさん」制度を五十八年から創設し、水産庁長官をはじめ中央団体の役員・海難遺児に理解のある一般の方々の御協力を得ることが出来ました。海難遺児家庭の状況につきましては、大学の先生を煩わした遺族実態調査・アンケート・母親座談会を通じて身近なものとなりました。全国各地で漁連を中心としたイベントも数多く催されるようになり、育英会設立以来多くの人の努力が実を結び底辺が広がってきています。平成二年度からは、念願の大学生までの貸与制度が開始され、幼児から大学まで一貫した育英制度となりました。基本財産も三億四千万に達し、給与金・貸与金も増額してあります。今年八月には二十周年記念行事も皇太子殿下をお迎えして成功裡に終りました。育英会で長年苦勞した手島弘平氏、

就任のご挨拶



専務理事
稲垣友三郎

この度、十月五日付で漁船海難遺児育英会の専務理事に就任致しました稲垣です。

私は、過日、水産庁開発課長を最後に農林水産省を退職するまで、約二十五年に亘り、水産庁各課あるいは県庁等で、専ら水

林和美氏を相次いで失ったことは残念でありません。私こと育英会の専務を十月五日に退き、北部太平洋まき網漁業連会長に転じましたが、後任の稲垣専務をよろしくお願いいたします。

産関連の仕事に携わって参りました。この間、漁協・県漁連の方々を始め漁業関係の皆様方に大変お世話をお願いいたしました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

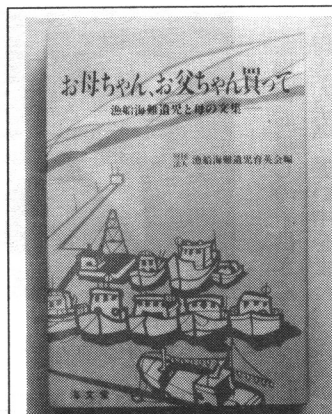
海難遺児育英事業につきましては、創設後二十年の間に、多くの方々の善意とご尽力により、逐次事業基盤が増強され、事業内容の充実も図られてきております。しかしながら、一方で、教育費等の負担額も年々増加していかなく、事業の現状は、なお改善充実を図らねばならない過程にあり、今後とも特段のご支援をいただき基盤の強化等に努めて参りたいと考えております。

今回、この意義ある事業の推進に携わることが出来ますのは望外の喜びであり、微力ながら専心努力いたす所存ですので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

第二部

①アトラクション

鳥羽一郎さん・北見恭子さん「海の歌謡ショー」で熱唱



漁船海難遺児育英会は、設立二十周年記念事業の一つとして、漁船海難遺児と母の文集「お母ちゃん、お父ちゃん買って」の文集「お母ちゃん、お父ちゃん買って」を発行しました。この文集は、遺児とその家族の生活実態を多くのの人に知ってもらうと昭和五十年から五年おきに製作しており今回が四集目。全国一般書店で販売されておりますが、直接、海文堂出版(東京都文京区水道二一五・四、電話〇三(八五一)三二九二)に申し込んで購入することもできます。

漁船海難遺児チャリティーキャンペーンを根気強く続けている演歌歌手の鳥羽一郎さんと北見恭子さん両人が、それぞれ得意の海をテーマにしたヒット曲を披露。伴奏も今活躍中の、三原綱木とザ・ニューブリードが一体となって遺児を励ました。

式典前日に「全国交流の夕べ」を開催

鳥羽一郎さんも参加し
楽しいひとときを!



②バス三台で都内見学
NHK↓東京タワー
原宿竹下通り巡る



三台のバスに分乗、間もなくNHKに到着、まずバスグループ別に記念写真を撮り、撮影セットや効果音の装置を申し込んだ後、東京タワーで大都市東京を一望。予期せぬ交通渋滞に巻き込まれましたが、最後のコースはお楽しみ原宿竹下通りで、お目当てのタレントショップにかけ込み、歓声をあげながらのショッピングで賑わいました。

「全国のつどい」に参加して

参加者からのお便り

遺児から

皇太子殿下に会えたよろこび

山口県 玉一 優子

「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」に参加して良かったことは、東京へ行ったことや、皇太子殿下に会えたことなど、言いきれないほど沢山あります。また新たに勇気も得られたと思います。参加したみんなが私と同じ立場であったから、おたがいに励まし合えたのだと、思います。本当に参加して良かったと思います。

都内見学は、楽しかったけれど、時間がなく、少しだけしか見れなかった。でも東京タワーから見た景色がとてもきれいだった。今でも思い浮べれるほど心に焼きついていきます。

アトラクションは、ちょっと私には向いてなかった。知っていた曲も、一曲しかなく、ちょっと年齢に合わなかったと思います。

参加してみても得たものをこれからも忘れずにおこうと思います。

また今度、いつ開催されるかわからないけれど開催されたら参加したいと思います。その時までにはただ自分立派になれているかが楽しみです。

また、参加して出来た友達といっしょに「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」に参加したいです。

大切な経験

長崎県 平戸由紀子

私はこのつどいに参加することができて、本当によかったと思っています。なぜなら、いろいろな人と出会えたからです。一歳の時に父を失くして

いる私は、父のことを全くおぼえていません。淋しいと思うことも時々ありました。しかし、父がいなくて淋しい思いをしているのは私だけではないという事もわかりました。そして、今私がこうして不自由なくくらしているのは、このつどいを主催して下さった方々のおかげだと思っています。今まで、なにげなくあたりまえの生活をしてきたけれども、私達家族はいろいろな方々に支えられて生活してきたんだと思います。このつどいをきっかけに、新しい友達もできました。私が今から生活していくうえで、大切な経験になったと思います。本当に楽しく、意義あるつどいだったと思います。

友達もでき視野も広がった

長崎県 田中 憲

20周年イベントに参加して一番よかった事は、他県の人と親しくなれた事です。部屋でいろいろな話をし、一緒に行動する事で、新しい視野を持つたと思います。

式典では、緊張したけれど、皇太子殿下はじめ、水産、各界の方々の心暖まる言葉に感謝の気持ちでいっぱいでした。

式典の後、市内見学へバスで行きましたが原宿のタレントショップで買物する事を何よりも楽しみにしていました。時間を忘れて、竹下通りを母、友人などへ買ったみやげを、両手にいっぱい持って、うろうろしていました。

また、このような機会があれば、是非参加させて欲しいと思います。

みんなが頑張っていることを知り自信が

和歌山県 久木留晶子

今回の東京での式典に参加させていただいて、本当によかったなあとあります。自分と同じように海難事故で父親をなくした人が苦勞しながら一生懸命がんばっているということを知り、

引率者から

とても有意義で楽しい三日間

新潟県 金田 和子

「全国のつどい」に引率者として参加し、育英会の事業に関係する人たちの多さに驚きました。

思い返してみれば、十周年式典の時にも引率者として参加し、帰りの列車の待ち時間の上野動物園で、子どもたちとはぐれてしまい、園内を捜しまわったことが思い出されました。あれから十年。新幹線が通り、乗車時間は半分になりました。

式典の作文朗読では、自分と同世代の方が夫を亡くし、子どもをかかえながらせいっぱいがんばっている姿に感激し、都内観光の竹下通りでは、子どもたちと地図を片手にタレントショップをまわりました。ここが一番楽しかったようです。

とても有意義で、楽しい三日間でした。

この夏一番のよい思い出

福島県 鈴木 京子

招待遺児五名と、その母親や姉妹総勢十四名で東京へ着いて、異口同音に「暑い」これが第一声だったのではないだろうか。今年は何年か一度の猛暑だと聞かれていたが、浜に住む子供達にとって、東京は夢にまで見る大都会であり、暑さも並以上で「さすが東京」と感心し、すべてのことが目新しく、新鮮に写っていたことだろう。

式典では、今までテレビでしか見ることもできなかった皇太子殿下に励ましの言葉をいただき、また、ご来賓の方々のあたたかいお気持ちにふれ、自分なりに感じとったことも大きかったことだと思います。

この三日間で、一番楽しかったことは？の質問に子供達は必ず「東京見物。特に原宿のタレントショップでの買い物」が今年一番の思い出になった

母親から



直ぐの感動
下のおこ
福岡県
内丸る子



海難遺児育英会及び県水産団体指導協議会の皆様の御指導と御尽力のお陰をもちまして、私共母子が福岡県代表として、全国の集いに参加させていただき、厚く御礼申し上げます。東京の国立オリンピック記念青少年総合センターの会場に、全国の漁船海難遺児やお母様方が集まりましたが、若いお母さん方の姿も数多く見受けられ、痛ましさを感じると共に、お互いに励まし合い、頑張りましょうと、力づけ合いました。八月七日午前十時より、皇太子殿下御臨席のもとに式典が開催され、殿下が御退席の際、私の横で足をお止めにし、「お元気で頑張ってください。」と直々にお言葉を賜わり、感激の余り、胸が一ぱいになりました。わが子の成長を楽しみに、亡き主人の分まで頑張らねばと、新たな覚悟をいたした次第です。一生の思い出となりました。

サンケイ福祉の船に参加して



八月二十二日から三泊四日の北海道支笏湖、札幌市での「サンケイ福祉の船」に、今回初めて当育英会奨学生十名が参加し、楽しいふれあいの旅を経験しました。交通遺児は七十三名、それに事務局、各地から子供たちを引率してくれた各支局、子供たちの世話やみんなが楽しめるように努力してくれたボランティア、支笏湖に本格的な花火を映し出した津久井火工の方々を加え、総勢百四十七名の大世帯

ようです。そのほか、鳥羽一郎さんと北見恭子さんのチャリティコンサート、そして忘れてはならないのは、同じ境遇の子供達と共に過ごした日々ではないでしょうか。

台風十四号の影響を受けてのスケジュール変更も、事務局の方々の連日、深夜に及ぶ綿密な打合せを初め、現地の方も含めて多くの方の御努力・御協力があった全員無事に楽しく過ごすことができました。

お陰様で、子供たちは、多くの友達ができ、飛行機の旅、支笏湖畔のキャンプ、キャンプファイヤー等は一生の思い出となったことでしょう。

「お母さんからの便り」
◎北海道の旅を企画しましたサンケイ新聞社を初め、関係者の皆様には、子供が大変御世話になりました。夏休み中の旅のプレゼントをいただき子供ともども感謝で一杯です。(福島県いわき市)
◎初めての飛行機の旅、支笏湖での野外炊事、花火大会など帰宅後お土産話で大変でした。沢山の友達を知り、雄大な北海道をみせていただき素晴らしい夏休みでした。(千葉県船橋市)

励ましおじさんから

自営店でのチャリティ

千葉県 石渡 光雄

漁船海難遺児育英会設立二十周年記念事業の一つとして発刊された、母子の文集「お母ちゃん・お父ちゃん買って」を頂き、早速読ませていただきましたが、余りにも悲しくて涙が先になってしまいました。

私も感ずるところがあり、微力ながらお役に立てればと今日まで、自営店のチャリティーバザール「魚の大特売」を実施して参りました。年中行事となりましたが、今年も近しい中に干物配りを、のぼりやたすき掛けで行い、大勢の皆さんに協力を頂きながら、育英事業を広く理解してもらいたいと思っています。

○父さんと母に言へない子等の春
○二役の母に感謝の雛祭
○木枯や幼な児背負ひ母強し
―株式会社ヒカリ食品経営―

計報

当育英会参与手島弘平氏には、「全国のつどい」の企画・準備半ばに倒れ入院加療中のところ、去る八月十八日脳梗塞のためお亡くなりになりました。享年六十三歳。

手島氏には、十五年余の長きにわたって現在の育英会の基礎づくりから育英事業の充実に、と全般に亘って精力的にとめてこられました。生前の皆さま方のご厚誼を感謝し、同氏のご冥福をお祈りいたします。

当育英会総務部長林和美氏には、十一月八日帰宅途中に、心筋梗塞のため倒れお亡くなりになりました。享年五十五歳。

林氏には、昭和六十二年、全漁連から当会に出向してこれ、全漁連で経験された知識をフルに活用して、総務・財務・経理面を一手に担い、また募金活動にも精励されました。生前の同氏に対する皆さま方のご厚誼に感謝し、同氏のご冥福をお祈りいたします。

励ましおじさん・おばさん

『会員申し込み・奨学資金の御寄付』のお礼

平成二年七月から十月までの間に会員の申し込みをいただき、同時に奨学資金の御寄付を賜った会員の御芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※御芳名(敬称略)

〔七月〕▽菊地徳彌(茨城県利根町)▽黒川郁雄(大阪府)▽塩見英世(京都府福知山市)▽神港魚類株式会社・継続(神戸市)▽高橋二男(横浜市)▽武部勤(東京都千代田区)▽田村元(同千代田区)▽桑原寅雄(同墨田区)▽小林仁(岡山県玉野市)▽馬場昇(熊本県八代市)▽株式会社九吉(青森県八戸市)

〔八月〕▽新見尚久(神奈川県鎌倉市)▽水産庁漁政部長・眞鍋武紀▽同研究部長・水谷宏

〔九月〕▽伊東英世・継続(東京都板橋区)▽今泉慶子(同千代田区)▽水産庁次長・島一雄・継続▽石川県漁業協同組合連合会参事・鶴越外喜▽山本あき(東京都世田谷区)▽菱幸運輸株式会社水戸営業所(茨城県大洗町)

〔十月〕▽橋川喜美夫(千葉市)▽種田かをり(神奈川県川崎市)▽渡邊俊明(埼玉県小平市)▽株式会社進建設(岡山市)▽全国共済水産業協同組合連合会常務・佐藤勝

基金造成

『募金・御寄付』

のお礼

平成二年六月中旬から十月末(一部未掲載分あり)までに御寄付いただいた方々の御芳名を掲げその御芳情に厚くお礼申し上げます。

※御芳名(敬称略)

一、漁協系統募金(系統扱い一般寄付金を含む。)

〔六月〕▽北海道▽中立啓介・香典返(京都府)▽金子喜代松・受章祝(千葉

葉県)▽吉田正憲・香典返(北海道)

〔七月〕▽漁協共済全国大会(新潟県)

▽鹿児島県▽西本喜代子・香典返(香

川県)▽ヤマハ中部(愛知県)▽中

垣憲司・香典返(福岡県)▽ヤマハ九

州(大分県)▽小西保・香典返(京

都府)

〔八月〕▽青森県▽長崎県漁協婦人部

連絡協議会▽長野県▽病見見舞返

(島根県)▽布目久三(富山県)▽森

朝征・香典返(香川県)▽島田ヒロエ

・香典返(島根県)▽吉永藤次郎・香

典返(同)▽宮崎県▽青森県▽吉岡治

男・香典返(北海道)▽大高耕二・入

院見舞返(同)▽奈良県豊太郎・入院見

舞返(同)▽可香サダ子・香典返(同)

▽伊藤時春・病見見舞返(同)▽関村

一三・全快祝(同)▽中山京子(同)

▽標準漁協婦人部・港まつりチャリ

ティー(同)▽日高地区職員協議会・

チャリティー・オクシオン(同)▽斜

理第一漁協(同)▽湾月町自治会カラ

オケ・ダンス愛好会(同)▽山口県▽

佐々木春喜・香典返(島根県)▽水門

巧(富山県)▽大分県

〔九月〕▽静岡県▽山口県▽久保久雄

・香典返(島根県)▽長崎県▽島根県

▽石田多吉・香典返(北海道)▽小林

キョ・香典返(同)

〔十月〕▽中嶋一太・育英会二十周年

祝(大分県)▽行成隆志・香典返(香

川県)▽島根県▽塩釜地区海難防止協

会外二件(宮城県)▽東北製鋼(秋

田県)▽沖縄県▽住吉不二夫・全快祝

(北海道)▽八戸地区船員保険協会

(青森県)▽北海道▽高知県・四十二

回全国漁港大会・漁婦連募金箱▽新潟

県水産公社▽青森県▽新潟県

二、一般寄付

〔六月〕▽眞崎克美・饒別返(千葉県

船橋市)▽高橋圭介(千葉県鎌ヶ谷

市)▽匿名(東京都中央区)▽布川

い(滋賀県大津市)▽飯村久子(千葉

県野田市)▽匿名(東京都品川区)▽

匿名(福岡市)▽川崎魚市場(渡辺

滋人(尼崎市)▽野中千代乃(横浜

市)

〔七月〕▽横浜丸魚(横浜市)▽鈴

木良三(千葉県船橋市)▽阿部玄(横

浜市)▽北見恭子を囲む女性だけの会

(山形県金山町)▽尼崎忠士(浦和

市)▽新井昭一・香典返(東京都練馬

区)▽渡辺哲夫(大阪府狭山市)▽新

潟県鮮魚商組合連合会(新潟県上越

市)▽山梨県水産物商業協同組合(株

井出組(静岡県富士市)▽伊藤春次

(築地報徳会)▽小林誠(東京都台東

区)▽中山筆子(神奈川県藤沢市)▽

高澤日出夫(茨城県つくば市)▽春田

孝二郎(東京都文京区)▽今泉静江

(栃木県宇都宮市)▽木村か弥(東京

都渋谷区)▽松本和義(同大田区)▽

上田都美(同荒川区)▽全国海友婦人

会下関支部(下関市)▽佐藤弘(長野

県上田市)▽川崎魚市場(飯村久子

(千葉県野田市)▽匿名(東京都品川

区)▽全国漁港協会・長崎県漁港協会

▽匿名(福岡市)▽鈴木敏夫(横浜

市)▽市川佳子(同)▽橋本孝禧(神

奈川県相模原市)

〔八月〕▽亀田静枝(東京都町田市)

▽新納礼子(同柏江市)▽春田孝二郎

(同文京区)▽竹中常夫(長崎市)▽

鈴木良三(千葉県船橋市)▽北みつ枝

(東京都東大和市)▽新居ツヤ子(大

阪市)▽江幡真知子(東京都世田谷

区)▽長尾悦(大阪府枚方市)▽大和

田規(青森県八戸市)▽高橋敏子(岡

山県津山市)▽小林誠(東京都台東

区)▽河野祐子・香典返(東京都世田

谷区)▽山中正子(横浜市)▽全国海

友婦人会三崎支部▽鎌内浩(宮城県仙

台市)▽白井邦彦(横浜市)▽佐野多

可子(東京都渋谷区)▽魚価安定基金

募金箱▽高橋圭介(千葉県鎌ヶ谷市)

▽中島けい子(神奈川県藤沢市)▽北

村美寿枝(東京都足立区)▽能村けい

(横浜市)▽木村か弥(東京都渋谷

区)▽高澤日出夫(茨城県つくば市)

▽脇田修治(和歌山市)▽樋口和弘

(茨城県常陸太田市)▽桜井憲二(東

京都練馬区)▽大類裕久(千葉県我孫

子市)▽上田都美(東京都荒川区)▽

水野優子(京都市)▽指幸子(東京都

板橋区)▽丹和子(愛媛県新居浜市)

▽嶋田則之(石川県長門町)▽中山筆

子(神奈川県藤沢市)▽亀田静枝(東

京都町田市)▽生田目弥寿(東京都調

布市)▽匿名(東京都品川区)▽匿名

(福岡市)▽全日本海員組合▽船村徹

と作家仲間たち▽川崎魚市場(福徳

船員労働組合▽高山寿子(埼玉県桶川

市)▽山本悦子(高知県伊予市)▽幡

野明子(東京都町田市)▽(株)おざ喜

(千葉県船橋市)

〔九月〕▽NTT東北建築センター

(宮城県仙台市)▽羽島海友婦人会

(鹿児島県串木野市)▽阿部勝郎(北

海道釧路市)▽飯村久子(千葉県野田

市)▽鈴木良三(同船橋市)▽田中喜

久子(京都市)▽阿須本守三(広島県

安浦町)▽春田孝二郎(東京都文京

区)▽手島健雄(埼玉県志木市)▽高

橋圭介(千葉県鎌ヶ谷市)▽奉仕の箱

アップルクラブ・十周年記念(東京都

北区)▽匿名(豊田市)▽六大都市水

産物青年団体連絡協議会(東京都中央

区)▽西出梅子(石川県根上町)▽永

見健造(千葉県飯岡町)▽池浦礼子

(新潟県寺泊町)▽松崎信子(鹿児島

市)▽竹中常夫(長崎市)▽嶋田久美

子(東京都多摩市)▽佐久間恒利(山

梨市)▽阿須本守三(広島県安浦市)

▽小林誠(東京都台東区)▽全国海友

婦人会・全国大会募金(神戸市)▽中

川マツエ(新潟県西津市)▽福原ヒロ

子(同津南町)▽柿沼洋子(埼玉県坂

戸市)▽木村か弥(東京都渋谷区)▽

上田都美(同荒川区)▽坂本高子(同

北区)▽鈴木敏夫(横浜市)▽原信春

(岐阜県穂積町)▽高松芳子(埼玉県

白岡町)▽川崎魚市場(同町田市)▽

都品川区)▽亀田静枝(同町田市)▽

保坂トシコ(横浜市)▽林義忠(福井

県鯖江市)▽高橋フサ子(岩手県江刺市)

〔十月〕▽匿名(福岡市)▽佐藤ノブ

子(岩手県盛岡市)▽田光幹子(横浜

市)▽渡辺かつ江(宮城県仙台市)▽

おさかなフェア90募金箱▽鈴木良三

(千葉県船橋市)▽全日北海道地方

支部▽加藤すみ子(埼玉県草加市)▽

吉岡正和(新潟県長岡市)▽田中宏尚

(千葉県浦安市)▽井沢正江(東京都

杉並区)▽北丘自治会長牧野弁三(千

葉県松戸市)▽小林誠(東京都台東

区)▽陣内由美子(千葉県市川市)▽

中山筆子(神奈川県藤沢市)▽海文堂

出版(東京都文京区)▽山田加代子

(福井県武生市)▽水産経済新聞社・

代表取締役社長安成椰子(東京都杉並

区)▽(株)ノジ喜代・社長山崎良夫(築

地報徳会)▽潮待茶屋企業組合・鈴木

大一期(同)▽野間保(同)▽菊池吉男

(茨城県常陸太田市)▽木村か弥(東京

都渋谷区)▽春田孝二郎(同文京区)

▽岡田洋(千葉県佐倉市)▽上田都美

(東京都荒川区)▽生田目弥寿(同調

布市)▽(株)筑波書房(東京都新宿区)

▽匿名(同世田谷区)▽(株)高橋

(宮城県気仙沼市)▽広田水産(福

岡市)

あとがき

本号は、当会設立二十周年記念特集号として「全国のつどい」を中心にとりまとめました。十月一日発行の予定でしたが、いろいろなことが重なり、止むなく本日まで遅れましたことをお詫びいたします。

なお、育英事業についての御意見・御要望、奨学生に対する励ましなど、皆様方の御投稿をお待ちしております。

平成 3 年 1 月 1 日から電話番号が次の通りとなります。

●電話 03(3256)1981
●FAX 03(3256)1982

お知らせ

(注) 学資給与奨学生の () 内は特選児で内数である。

奨学金貸与奨学生の () 内は入学一時金のみの採用者で外数である。